投信フォーラム2017 in 山形～今日からはじめる資産形成 投資信託で豊かな人生を～

メリット生かし 長い目で見て 賢く運用

個人型確定拠出年金（iDeCo＝イデコ）の加入対象者が拡大され、来年1月からは新たな少額投資非課税制度「つみたてNISA」が始まります。こうした動きを背景に、身近な資産形成の手段として「投資信託」への注目が高まっています。一方で「よく分からない」という人が多いのも事実。一般社団法人投資信託協会、山形新聞社などが主催し、山形市でこのほど開催された「投信フォーラム2017in山形」では、投資信託のしくみや上手な活用法について専門家が分かりやすく解説。元全日本女子バレーボール代表で山形市出身の高橋みゆきさんも、自分の目標を実現するための努力を「続ける」大切さについて語ってくれました。

第2部のパネルディスカッションでは、まずコーディネーターの神戸孝氏が少額投資非課税制度（NISA）やつみたてNISA、iDeCoの商品特性や活用法などについて説明。続いて、あらかじめ寄せられた来場者からの質問に答える形で、パネリストが意見交換を行いました。

神戸　孝氏　伊藤勇治氏　須賀直行氏

出席者

【パネリスト】
高橋みゆき氏（元全日本女子バレーボール代表）
伊藤　勇治氏（野村アセットマネジメント㈱投資信託営業本部執行役員）
須賀　直行氏（ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント㈱企画部副部長兼IR室長）
【コーディネーター】
神戸　孝氏（FPアソシエイツ&コンサルティング㈱代表取締役CFP、日本FP学会会員）

神戸氏の説明要旨

NISAやつみたてNISA、iDeCoには税制面の優遇措置が設けられている一方、利用できる人や拠出限度額、投資の対象などに制約があります。いずれの場合にも投資対象となる商品が設定されています。

iDeCoは、あらかじめ掛け金（拠出金）の額を決めておいて月々拠出し、加入者が60歳以上になったら一時金または年金として受け取ることができます。将来の給付額は運用成績によって変わります。60歳になるまで受け取れない制限と引き換えに税制面のメリットが設けられている制度であり、老後資金の準備に適しています。

NISA、つみたてNISAには、iDeCoのような払い出しの制限はなく、20歳以上なら誰でも利用することができます。余裕資金を増やす、ライフプラン実現のための資金を用意する、などの目的に適した制度といえます。

つみたてNISAは、投資初心者の利用を想定し、厳格な要件を満たす商品のみがラインアップされます。

iDeCo、つみたてNISAのような「積立型投資」では、長期間運用することで、経済の成長に伴い資産が増える可能性が高い株式に投資する商品を中心に選ぶべきです。

投資信託には値動きがあります。値動きの大きな商品は「リスクがある」と敬遠されがちですが、この場合の「リスク」は価格の「ぶれ」を意味します。定額の積み立て方式ならば、値下がりしたときには商品をたくさん買い、値上がり時には少ししか買わないことになるので取得価格の平均が下がり、むしろ最終的なリターンが大きくなりやすいということを知っておきましょう。

投資信託の上手な活用法などについて説明した投信フォーラム2017in山形　＝山形市・山形国際交流プラザ

「リスク」は価格の「ぶれ」
積立型は長期運用が有利
税制優遇 使わない手なし

第2部 パネルディスカッション
どう使う？知って得するNISAと確定拠出年金

―投資信託のメリット、デメリットを教えてください。

伊藤　少額から投資ができることに加え、投資された資金を合算しプロが運用することで、株式や債券に分散投資できたり、個人では投資しにくいマーケットにも投資できる、などがメリットとして挙げられます。元本割れのリスクもありますが、長期運用することでリスクを吸収できるので、投資信託を活用した資産形成を早めにスタートし、メリットを享受していただければと思います。

須賀　不動産投資信託（REIT）は、不動産の運用に特化した投資信託で、日本のものは「J-REIT」と呼ばれています。不動産には投機的なイメージもありますが、REITは主に賃貸収入を長期・安定的に投資家に分配する仕組みであり、世の中の動きに興味がある人、まとまった資金の運用などに向く商品だと思います。

―投資信託に対する印象は。

高橋　投資にはこれまで興味がなかったのですが、今後のことを考え、もっと深く勉強してみたいと思いました。

―高橋さんに薦めるなら。

伊藤　年齢が若く、長期にわたって運用できることを考えると、株式を主な投資対象とし、長期の成長を享受できるような投資信託を選んだらいかがでしょうか。

高橋　投資信託は投資先を専門家が選定してくれるとのことなので、その部分は良さそうな印象を持ちました。

―投資信託を選ぶ際のポイントは。

伊藤　その投資信託が何に投資をしているのか、毎月の運用成績や過去の値動きなどをまず見てください。一般的には値動きの大きなものは、リスクも大きいと考えられますが、長期的にはリスクの大きな商品ほど期待できるリターンも大きいという関係があります。今後の資金使途のスケジュールや投資できる期間等も選ぶ際に考慮すべきポイントだと思います。

須賀　REITは、複数の物件を所有し、安定して収入を得る考え方で運用を行っています。選ぶ際はまず、どういう不動産が組み込まれているかを見ること。さらに、運用会社のバックにどのようなスポンサーがあるかも重要なポイント。不動産会社、金融機関、ハウスメーカーなどがスポンサーとなっていることが多く、外資系もあります。踏み込んで調べていくと、ラインアップや運用方針の違いが見えてきて興味深いですよ。

―投資信託を売却するタイミングは。

伊藤　運用の目標を達成した、決まった使い道がある、などの場合、売却も選択肢となりますが、特に使い道が決まっていないなら、基本的には長期にわたって運用する方がいいでしょう。

―非課税枠など、有利な制度はどう活用すればいいでしょうか。

伊藤　NISA、つみたてNISA、iDeCo、それぞれにメリットがあり、活用しない手はありません。ただ、微妙に違いがありますので、販売会社の方に相談するなどして、自分の投資スタンスに合った制度を選べばいいのです。

須賀　J-REITは東京証券取引所に58銘柄が上場しており、1口10万円台から高くても60万円台です。NISAと相性がいいと思います。

―これまでのご感想は。

高橋　投資信託の一番の成功要因は「長く続けること」と伺いました。結果が出るなら忍耐はします。これを機会に、投資信託のことをもっと勉強してみようと思います。

第1部 トークショー
夢を掴（つか）む～私のバレーボール人生

元全日本女子バレーボール代表
高橋 みゆき氏

「続ける」ことで、夢は実現する

物心ついた頃にはバレーボールに触っていました。父がスポーツ少年団の指導者で、兄も入っていて、家にはいつもボールがあって、という環境の下、ごく自然に親しむようになりました。いろいろなスポーツもやってみましたが、中でもバレーボールが一番楽しかったので、ずっと続けてきたのだと思います。

小さい頃はとにかく「好き」という気持ちが強く、怒られても楽しくて仕方がありませんでした。それまでできなかったことができるようになる。毎日のようにそうした経験があり、それが楽しかった。

小学生の頃から「オリンピックに出たい」「日の丸を付けて」「日の丸を付けて五輪で戦う」けて戦いたい」という思いを、漠然と抱くようになりました。どうやったらなれるかは分かりませんでしたが、中学、高校と続けている中で、「いつかは」という思いは常に持ち続けていました。

山形商高を卒業後、NECレッドロケッツに入団し、プロとしての第一歩を踏み出しました。ただ、夢はあくまでことであり、トップチームに入ったことは一つの通過点だと思っていました。

それまでと違い、練習漬けの日々。全く想像していなかった生活に、ついて行くのが精いっぱいでした。「とにかく3年続けよう」と、近いところに目標を設定して頑張っていたら、3年後、全日本代表になることができました。

全日本では、とにかく「自分にしかできないことを磨く」ことを心掛けました。身長が170㌢と低い方でしたが、小柄な選手だからこそできることを模索し続けました。アテネ五輪後、イタリアのチームでもプレーしましたが、「自分にしかできないこと」と、をやってきたからこそ、世界で戦い続けられたのだと思います。

夢を実現するため、「自分にしかできないこと」を磨き続ける。これはどの世界でも同じことだと思います。私の場合は五輪出場。この大きな夢を持ちつつ、その時々で小さな目標を立て、一つ一つクリアしてきました。その積み重ねがあったからこそ、大きな目標にたどり着くことができました。

諦めること、やめてしまうことは簡単で、いつでもできます。「続けること」の方が難しい。私は負けず嫌いの性格もあって「ここでやめていられない」という思いで壁を乗り越えてきました。

とにかく「続ける」ことで、大きな夢にたどり着くことができるのだと思います。今はバレーボール教室などで教えることが楽しいので、教えた子たちが日本代表になればいいな、と思っています。

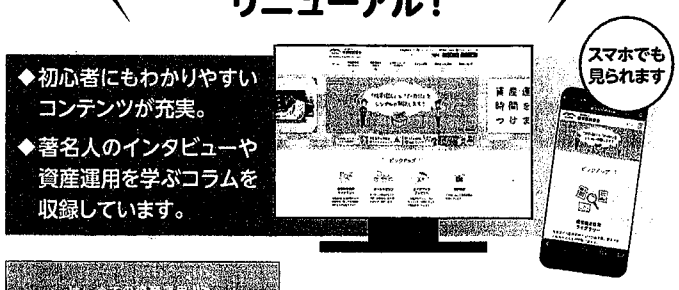
今日からはじめる資産形成 投資信託で豊かな人生を

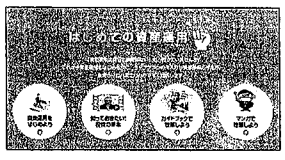
将来のことがとても心配。投資で備えるという話も聞くけれど…

投資信託は、1万円程度からはじめられて、リスクを小さくする分散投資も可能な商品です。
あなたの資産形成に投資信託を加えてみませんか。

投資信託協会ホームページがリニューアル！

◆初心者にもわかりやすいコンテンツが充実。
◆著名人のインタビューや資産運用を学ぶコラムを収録しています。





はじめての資産運用でも安心
これから資産運用をはじめる方に、ライフプランの考え方や資産形成の考え方、投資のイロハまで、コラムや動画、マンガでわかりやすく解説します。

無料 ガイドブックプレゼント（各1冊セット）

個人投資家を応援する税制優遇制度「NISA」や「ジュニアNISA」についても解説しています。
これから投資をはじめる方、交付目論見書や運用報告書の見方がわかるリーフレットも一緒にお送りします。

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会Y係
※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

一般社団法人 投資信託協会　www.toushin.or.jp　投資信託協会　検索